

2015年12月5日

Kyot. Prot. N. 111/2015
京都教区 共同宣教司牧ブロック
担当司祭および信徒の皆さんへ

京都司教 パウロ大塚喜直

2016年 司教年頭書簡

御父のように、いつくしみ深く

～神のいつくしみの特別聖年を歩む～

2016年ブロック司教訪問の趣意書

1. 2016年の 教区テーマ

教皇フランシスコは、2015年4月11日（復活節第二主日、神のいつくしみの主日の前晩）に、大勅書「いつくしみのみ顔」（Misericordiae Vultus）をもって、「いつくしみの特別聖年」の開催を発表されました。（中央協議会発行の大勅書の冊子、または、中央協議会ホームページのいつくしみの特別聖年の項目に掲載されています。）

この特別聖年は、本年2015年12月8日、無原罪の聖母の祭日（第二バチカン公会議閉会50周年）に開幕し、2016年11月20日、王であるキリストの大祝日で閉幕します。

教皇の「大勅書」には、主に三つのポイントがあります。①聖年の開催方法、意義、モットーの紹介、②聖年を実り多く生きるための具体的な助言、そして、③聖年をとおして生き方を変える機会とするように、という呼びかけです。

私は、2015年11月29日 待降節第一主日付け書簡「京都教区の皆さまへ、いつくしみの特別聖年を迎えるにあたって」（Kyo. Prot. N. 101/2015）で、「大勅書」から、特別聖年を迎えるための準備に役立つ簡単な説明と、聖年について知っておくべき若干の補足説明をしました。

来年2016年の司教年頭書簡は、教皇フランシスコの意向を受けて、「御父のように、いつくしみ深く～神のいつくしみの特別聖年を歩む～神のいつくしみ」と題して書きました。

聖年のモットーは「御父のように、いつくしみ深く」です。いつくしみとは、父なる神だけの態度ではなく、わたしたちもまた御父のように、いつくしみを生きようという呼びかけです。教皇は、この特別聖年を有意義に過ごすため、巡礼を行なうことだけではなく、信徒一人ひとりが日々の生活の中で、人を裁かないこと、ゆるしを与えること、社会において疎外された弱い人々に心を開き、慈善のわざを行なうことを勧めています。

京都教区は、二年にわたって、神が選んだ貧しさについて考えてきましたが、神のいつくしみというテーマは、貧しさと密接につながったテーマです。「貧しさ」と「神のいつくしみ」を合わせて考え、信仰を深め、神のいつくしみの特別聖年を実りある恵みのときといたしましょう。

2. ブロック司教訪問のプログラム

①ブロック訪問の構成（およそ 140 分）

1. 主日のミサ（60分）
 休憩 10分
2. 司教講話（60分）

②ミサの時間は、

原則、訪問する小教区の通常の日曜日のミサから始まります。
ただし、ブロック訪問のため、特別にミサ時間を変更する場合は、事前に
教区本部事務局（大森：Eメール：honbu@kyoto.catholic.jp）まで、お知らせください。

③ブロック内のミサについて

ブロックの事情に合わせて、ブロック内の各教会の主日のミサをするかしないかは、
担当司祭の判断にゆだねます。

④司教ミサの典礼について

ミサは、その日の「主日の典礼」です。
ミサの準備の中で、年頭書簡のテーマ「神のいつくしみ」に関連して工夫する。
例：共同祈願、歌など。

3. 2016 年 ブロック司教訪問日程

①	1月10日	奈良ブロック	西大和カトリックセンター
②	1月24日	舞鶴ブロック	福知山教会
③	3月13日	三重北部ブロック	桑名教会
④	4月10日	京丹ブロック	西院教会
⑤	4月24日	三重南部ブロック	尾鷲・紀伊長島共同体
⑥	5月1日	奈良ブロック	富雄教会
⑦	5月8日	洛北ブロック	衣笠教会
⑧	7月3日	山城ブロック	青谷教会
⑨	7月24日	滋賀ブロック	大津教会
⑩	9月11日	三重南部ブロック	久居教会
⑪	9月18日	京都北部ブロック	丹後教会（加悦）
⑫	10月2日	洛東ブロック	山科教会